

第27回視覚障害リハビリテーション 研究発表大会 IN 神戸 ～発見そして自立ー視覚リハの新時代へ～



<開催日時>

2018（平成30）年
9月14日（金）～16日（日）

<開催場所>

9/14（金）：神戸国際会議場（5F 会議室 501）
9/15（土）・16（日）：神戸国際展示場2号館、
神戸アイセンターなど（神戸中央区・ポートアイランド）
最寄駅：ポートライナー 市民広場駅、医療センター駅
※神戸アイセンター：2017年秋オープン予定

演題登録期間（予定）：2018年（平成30年）1月1日（月）～3月31日（土）

事前参加登録期間（予定）：2018年（平成30年）6月1日（金）～7月31日（火）

大会長：高橋 政代 国立研究開発法人理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
網膜再生医療研究開発プロジェクト プロジェクトリーダー
公益社団法人NEXT VISION 理事

副大会長：田中 環 社会福祉法人兵庫県視覚障害者福祉協会 会長
山縣 祥隆 山縣眼科医医院 院長

後援：（特非）神戸アイライト協会・神戸市・神戸市教育委員会・（一社）神戸市視覚障害福祉協会・（社福）神戸市社会福祉協議会・視覚支援機器用具事業者協議会・（社福）視覚障害者文化振興協会・（特非）全国視覚障害者情報提供施設協会・（公社）日本視能訓練士協会・日本歩行訓練士会・（社福）日本盲人社会福祉施設協議会・（公社）日本網膜色素変性症協会・（社福）日本ライトハウス・日本ロービジョン学会・（公社）NEXT VISION・兵庫県眼科医会・（社福）兵庫県視覚障害者福祉協会・（国研）理化学研究所

<大会長よりメッセージ>

2016年夏、テレビで放送されるパラリンピックのクロージングを見て、障害者ケアが進化しようとしていると感じました。



過去に障害者が無視され差別された時代から、様々な福祉サービスの支援を受ける立場へと変遷してきました。そして、今、ともすると障害者はかわいそう、何もできないといった誤解や偏見に満ちた時代から真の共生、インクルーシブの時代へと社会の意識も変革の兆しが見えます。

障害を別の角度で見つめ直し、障害者であってもその才能、人格を普通に、あるいはさらに有利に活用する方法を探るステージに進化させたパラリンピックのクロージングは、まさにそのメッセージだと強く感じたのです。そういう社会全体の流れの中で、視覚リハも様々なデバイスの発達などで新時代に突入しようとしています。

2018年の視覚障害リハビリテーション研究発表大会では2020年のオリンピック・パラリンピックへ、さらに未来へ向けて、視覚リハも新時代への進化を見せたいと考えています。可能性の再発見、そして自立へのさらなる挑戦です。

<ご協力のお願い>

現在、大会に後援・協力・協賛・寄附などご支援くださる企業・団体・個人の方を募集しています。詳細は下記担当者までお問合せください。

ここ神戸から、みなさまと一緒に視覚リハの新時代を切り拓いていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いたします。



<お問合せ先>

理化学研究所（CDB）
網膜再生医療研究開発プロジェクト内
大会実行委員会事務局 担当：山田 千佳子
TEL：078-306-3305
FAX：078-306-3303
E-Mail：taikai@jarvi.org
大会 Web：http://jarvi.jpn.org/index.php